

第836回審査会合（地盤支持性能）における指摘事項

- (1) 液状化強度特性の設定について、平均値- $\sigma$ を下回る結果となった調査箇所と評価対象施設との位置関係を整理した上で、その代表性について説明すること。
- (2) 液状化対策の実施範囲、効果等の液状化対策の設計の考え方を説明すること。また、埋戻土の土質性状のばらつきを踏まえ、液状化対策範囲や仕様が保守的な設定となっていることを説明すること。
- (3) 新潟県中越沖地震を用いた再現解析の鉛直方向変位について、実測値と再現解析の関係や液状化強度特性の解析値への影響が水平方向と異なる傾向を示していることに関して考察を充実させること。また、最大過剰間隙水圧や最大せん断ひずみと地盤の残留変位との関係についても考察を充実させること。
- (4) Rayleigh減衰における係数 $\beta$ の設定の保守性、適用性について説明を充実させること。
- (5) 施工中及び計画中の地盤改良体の物性値の設定に関して、施工管理基準、品質確認方法について示すこと。
- (6) 補機冷却用海水取水路の地下水位の設定について、補機冷却用海水取水路近傍での地下水位観測記録がないことを踏まえて地下水位の再設定について検討すること。また、当該取水路の設置区間内で地下水位が最大となる地点での裕度や地下水の上昇要因・変動要因に対する設計裕度に関する考え方を整理して説明すること。
- (7) 6号機施設の地下水位の設定に関して、6号機及び7号機施設周辺における地下水位観測記録の傾向やその要因について整理し資料に反映すること。

以上